

福知山市自治基本条例推進委員会 Bグループ部会(第2回)概要報告

[日 時]令和5年1月10日(火)14:00~16:00

[場 所]市民交流プラザふくちやま

[出席者]委員…7人、事務局…5人、傍聴者…0人

■ 開会

■ 挨拶

■ 前回のふりかえり

■ 協議事項「21の提案(⑫⑬⑭)の具体化・実現に向けて

提案⑫「福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう」

提案⑬「福知山市の歴史、自然、文化などの魅力を日本中、そして世界にむけてアピールしていこう」

【福知山市の強み】

・福知山には、豊かな地域資源がたくさんあること。

・名産品を手に入れる上で、鉄道等の交通網が一定整っている。

・移住者が増えたこと。

・市の広報が大変よくなつた。

・菓子店など、全国的に有名な店が多い。商品に「京都」「丹波」ブランドが使える。

・福知山市は災害の多いまちなので、防災のノウハウや拠点があるのが強み。

【福知山市の弱み】

- ・観光地や名産品を購入できる場所等をつなぐ観光ルートができていない。
- ・福知山市から京都市までのアクセスが悪く、市内の観光地を巡るバスツアーもない。
- ・大型の道の駅がない。
- ・担い手がいないので、耕作放棄地が増えている一方で、農業だけで生活ができない。
- ・農業を支える運営組織体への支援が不足している。
- ・福知山は農作物を加工せずに出荷するのが大半だが、加工しなければ利益化しづらい。儲かる産業にするためにも、市内農家の意識改革も必要。
- ・市の「ええもん」認定には、メリットを感じない。
- ・農作物等の売買や情報発信を企画・支援できる人材が必要。
- ・行政の中の連携がまだ不十分。ワンストップ窓口があるとありがたい。
- ・多言語表記の案内板が少ない。駅の案内板も少なく、観光客等に対して不親切。
- ・福知山は「通過のまち」なので、集客力が弱い傾向がある。
- ・有害鳥獣対策が地域によってばらつきがある。
- ・ジビエについて戦略を考えるべき。
- ・外国に対して、福知山を自慢できる話題・ストーリーがないように思う。

【21の提案の具体化・実現するためのアイデア】

- ・市民出資等で資金を得て、農産物を育てるのはどうか。それを、行政と連携しつつ、道の駅やイベントを定期開催して販売する。
- ・人口減は避けられないで、関係人口を増やすことが大事。関係人口を増やすきっかけづくりの一つとして、クマ・サル除けも兼ねた柿もぎ体験を行ったが、柿の木の持ち主・体験者・イベント運営者の3者にとってメリットのあるイベントとなった。
- ・通過するまちだからこそ、道の駅が必要。
- ・グローバルで発信力のある人材が必要だが、ゼロから育てるのは大変なので、成功した企業家など、キーとなるような人を呼び込む必要がある。
- ・観光地等に無料Wi-Fiを設置すること。
- ・観光地同士をつなぐバスを運行する。
- ・行政だけではなく、さまざまな立場の人が、SNS等で情報発信し、福知山市の魅力をPRする。
- ・市内的一部地域では、休日にバスが運行していないので、それを運行すること。観光地として売り出すには、交通手段の充実は不可欠。